

まち・ひと・しごと「中城村人口ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の全体像

総合戦略(2015～2019年度の5カ年)

人口ビジョン

中長期展望(2060年を視野)

人口の現状分析

人口は増加傾向にあり、2010年の「人口増減率順位」では、全国10位(1,882人増、増加率11.9%) 沖縄県でも特に増加が著しい地域 2010年の合計特殊出生率は1.75となっており、中南部地域の1.85、さらには沖縄県の1.87を下回っている 転入が転出を上回る状態が続いており、年間人口増加の70～80%が社会増による

出生率の希望実現と社会増分の人口を受け入れる住宅供給を実施することで、安定的な人口増加と急激な高齢化抑制が可能

人口の将来展望

1 将来の方向 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現する 村内における人口の南上原地区への一極集中を解消し、バランスのとれた分布を目指す 周辺市町村に対する定住促進面でのアドバンテージの獲得

2 将来展望 2020年当初:21,000人 2060年当初: 人

社人研推計準拠の人口推計では、中城村の人口は2040年に18,872人となっているが、本村における人口増加傾向は推計値を上回る値で推移しており、今度の施策の実施状況を加味して、総合的に判断する必要がある

基本目標

「住みたい、住める」暮らしを支えるまちづくり 数値目標 南上原地区を除く地区における転入者数 人

「産みたい、育てたい」若い世代を支えるしくみづくり 数値目標 合計特殊出生率

「住み続けたい」定住を実現する暮らしづくり 数値目標 村人口 人

「働きたい、訪れたい」豊かな資源をいかしたしごとづくり 数値目標 村内での新規就労者数: 人 村への観光入込客数: 人

施策の基本的方向

- 新しいまちづくりの推進
農のある住環境の整備
公共交通網の拡充
地域防災体制の育成・充実
村民参加に支えられた協働による村づくり
出産から子育てまでを包括した支援体制の構築
小学校ごとの特長を活かした教育の充実
郷土愛と健康を育む食育の充実
暮らしを支える住環境の質の向上
生涯にわたって活躍できる社会教育の充実
若い力を活かす琉球大学との官学連携の推進
村外に向けた定住促進PRの推進
公共施設の整備・活用
農水産業の振興
商工業の振興
特産品の開発・販売
観光の振興

具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

Table with 2 columns: Policy/Measure and KPI. Rows include: 土地区画整理事業の推進, 新規市街化区域の拡大に向けた取り組み, 既存宅地における住宅開発の促進, 定住環境向上のための公園等施設整備, 公共施設の集積化の実施, 優良田園住宅制度の利用拡充, 都計法34条緩和制度の利用拡充, 護佐丸バスの利用促進, 護佐丸タクシーの利用促進, 周辺市町村との連携, 自主防災組織の育成・強化, 地域防災体制の整備・充実, 地域活動の活性化と住民活動組織の育成, 村民が参加・活躍する場の充実, 地域コミュニティの育成支援, 母と子の健康管理の充実, 母子保健サービスの充実, 保育環境の充実, 子どもが安心して遊べる場の創出, 子育てにおけるバックアップ体制の強化, 児童相談・援助制度の活用促進, 包括的な出産子育て支援の情報発信, 教育カリキュラムの充実, 支援を必要とする児童生徒への教育の充実, 学校教育を通じた食に対する知識の向上, 定住しやすい住環境の創出, 生涯学習・人材育成の拡充, 生涯学習体制の支援, 生涯スポーツの推進・支援, 琉大生を活用した活動支援の展開, 住宅供給のマッチング推進, 豊かな暮らしサービスの整備, 収益向上のための取り組みの推進, 後継者の育成, 新たな農業施策の展開, 遊休農地の管理・活用方法の検討, 村民ニーズに対応した企業誘致の実地, 企業立地環境の改善と産業育成, 特産品開発等の推進, 新たな販売ルートの確立, 効果的な情報発信の実施, 中城城跡及び周辺の計画的な整備の推進, 観光客の受入態勢の整備, 新たな観光プログラムの創出, 広報・PRの充実.